

令和6年度 “うつくしま、ふくしま。” 環境顕彰受賞者一覧

No.	区分	管内	個人・団体名	顕彰理由	写真
1	団体	県北	野田町北部町会子供会 (会長 高木 史子)	「素敵に町会づくり」を掲げ、定期的な廃品回収を実施し、ごみの削減やリサイクルを呼び掛けている。子供会の行事として35年以上の長きにわたり活動をしており、地域の意識改革とごみ減量化に大きく貢献している。	
2	団体	県南	表郷環境ネットワーク・白河市立表郷中学校 (会長 滝田 国男)	毎年、表郷環境ネットワーク会員の地域住民と表郷中学校の生徒が協力して、ビャッコイ沼の清掃ボランティア活動を行っている。世界的にも希少なビャッコイ自生地の環境整備により、ビャッコイ生息の維持につながっている。 また、中学生がビャッコイ保護活動を行うことは、地域の将来を担う中学生の郷土を愛する心を育むよい機会となっている。	
3	団体	県南	赤面山を緑にする会 (会長 大高 紀元)	緑あふれる以前の赤面山を目指し、白河高原スキー場跡地に植林活動を続け、平成26年から令和5年までに、ヤシヤブシ、ヤマハンノキ等を2,600本以上植林した。 平成27年には、福島森林管理署白河支署とスキー場跡地の植生回復目的とした植樹活動に取り組む、ふれあいの森「赤面太郎の森」協定を結んでいる。 地元の十数団体が会員となって活動を支えており、地域社会へ貢献している。	
4	団体	会津	福島県立会津支援学校高等部クリーン班 (校長 猪俣 康彦)	クリーン班では、清掃活動を通して働くために必要な力を身に付けている。校内だけでなく、会津若松駅をはじめ、福島県立博物館や障がい者支援センター等の学校周辺の公共施設でも清掃活動を実施し、地域の一員としての役割を果たしている。 学習を通して、働くための意欲を養うとともに、地域環境の美化に貢献している。	
5	団体	会津	大戸地区環境美化推進協議会 (会長 玉川 孝司)	29年の長きにわたり、国道やふるさと農道のごみ拾い、不法投棄のパトロール、小学生と共に学校花壇への花の球根植えや駅・地区公共施設の花壇の手入れなどを行い、大戸地区全域の環境美化活動に取り組んでいる。 また、大戸小学校緑の少年団の活動も支えるなど、地域への貢献度は高く、他の地域の模範となっている。	
6	個人	県中	矢吹 重光	長年にわたり、小学校の授業や余暇活動（放課後子ども教室）において自然体験活動や自然環境学習等の支援・指導などに取り組むほか、各種町民団体等の活動においても自然観察会の支援・指導等を積極的に行うなど、地域の環境保全活動に貢献している。	
7	個人	いわき	佐藤 烈	平成26年に「いわき市環境アドバイザー」に登録して以降、いわき市内の幼稚園や小学校などの依頼により、自然観察や木工クラブ等を通じた自然環境学習の支援・指導などに継続的に取り組んでいる。 また、「NPO法人いわきの森に親しむ会」の会員として、湯ノ岳周辺をフィールドとした、主に親子向けの自然体験活動にも尽力している。	
8	個人	会津	立花 千秋	平成21年から、小野川湖岸や桧原湖岸で清掃美化活動を行っており、その継続的な活動は、磐梯朝日国立公園内にある裏磐梯湖沼の水環境保全並びに景観の美化に大いに貢献しており、県民の模範となるものである。	